

事業名称		
事業名	道路改築事業	
整理番号	24-8	
事業の種類	道路(国道、県道、農道、林道)の新設・改築 及び街路の整備	
市町村名	下水内郡栄村	
箇所名	(一)長瀬横倉(停)線 長瀬～貝廻坂	
事業年度	平成24～27年度	
事業概要		
目的	狭小な幅員となっている区間について道路改築を実施し、車両の安全かつ円滑な通行を確保することを目的とする。 さらには、地域間連携交流の強化、産業・地域振興を図る。	
計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	道路築造工 L=5.5km 道路幅員W=6.0m、車道幅員W=4.0m(1.5車線道路整備)	
関連する事業計画	平成22年度 道路改築工事(当計画地終点側)	
その他特記事項	なし	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	なし	
その他	なし	
社会的要素		
	留意すべき地域の概況	
交通の現況	事業区域の北側に国道117号が位置し、そこから野田沢集落への重要な生活道路となっている。(迂回路は1時間近く遠回りとなる) 交通量は420台/日(H17交通センサス結果)である	
土地利用の現況	一部平坦面があり畑・水田として利用されているが、ほとんどが山地である。 区間北側には保安林が広がる。また区間内には地すべり危険区域(土木)が存在する。	
生活関連施設の現況	道路計画範囲内において住居はないものの、道路の始終点部に集落が存在する。 当区間は小中学校送迎バスのバス路線となっている。	
その他	特になし	
自然的環境要素		
	留意すべき地域の概況	想定される影響又は環境配慮の方針
大気環境	特になし	大気汚染の防止 騒音、振動の防止
水環境	特になし	水質汚濁の防止 水循環の保全
地形・地質	丘陵である 円礫を含む粘性土質斜面である。 地すべり危険区域(土木)	改変面積の最小化 対象となる谷地形の浸食防止措置を講じる
野生動植物	里山の地域である	動植物への負担の少ない形状・素材の使用
景観	山地景観を形成している	良好な景観の育成
自然とのふれあい	特になし	現在は想定されないが、必要がある場合は施工等へ反映する
文化財等	特になし	現在は想定されないが、必要がある場合は施工等へ反映する
廃棄物・建設残土		建設廃棄物や建設残土の発生抑制 建設廃棄物や建設残土のリサイクル 資源の有効利用
省資源・省エネルギー・温室効果ガス		環境への負荷の少ない機械の利用等 エネルギーの有効利用
日照障害・電波障害・光害		現在は想定されないが、必要がある場合は施工等へ反映する